

## 質問7 研修会の参加状況や開催時期について

(該当箇所:p43 2025年度事業報告 研修運営について(研修会の参加率) 「Ⅱ.第4次作業療法5か年戦略関連活動 2.研修会の企画運営を検討、実施した」

1)~14)の研修を企画、実施についてご尽力にも関わらず、研修会によっては定員を大幅に超えたものは、1)5歳児検診への作業療法士参画に関する研修会(定員180人 参加者378人)がある一方、ほとんどの研修で定員を下回っている状況である。

これらの参加率の問題として、研修会開催日の告知の時期の問題、開催日について会員が参加しにくい日程に開催していること等があると思われる。例えば、養成校教員対象の研修として、「3)MTDLP教育を理解する教員研修(定員100名、参加者12名)、6)教員と実習指導者のためのMTDLP教育法(定員100名、参加者32名)」では、著しく参加者が少なく、例えば土日に研修会開催しても参加しにくい日程かもしれない(私立養成校であればオープンキャンパス等が7-8月の土日に行われやすく、出勤等で参加しにくい可能性あり)。会員が参加しやすいような日程、参加しやすい研修を立案していくべきと思われるが、協会としての考え方をお伺いしたい。

## 回答

ご質問ありがとうございます。また、各研修会の参加状況について詳細にご確認いただき、開催時期や対象者の業務状況等も踏まえた具体的なお意見をいただきましたことに感謝申し上げます。

ご指摘のとおり、2025年度に実施した各研修会においては、研修内容によって参加状況に差が見られました。特に、「5歳児健診への作業療法士参画に関する研修会」では定員を大きく上回る参加申込があった一方で、一部の養成校教員向け研修や専門作業療法士取得応用研修では、参加者数が少ない状況もありました。協会としても、研修会の参加率や参加しやすさについては重要な課題であると認識しております。

ご指摘のありました「MTDLP教育に関する研修会」については、1日開催ということで、土日祝に設定する必要がありました。また、「教員と実習指導者のためのMTDLP教育法」に関しては広く参加者を募るため2回開催をいたしました。しかしながら、結果的に参加者が定員を大幅に下回ったことについては大きな課題であり、研修内容また広報の方法も見直す必要を痛感しております。それに加え、教員の「MTDLP教育に関する理解と関心」を深めるような働きかけも重要だと考えております。

会員数6万人を超える中、多くの会員の皆様へ研修機会を提供するためには、オンライン研修やオンデマンド研修の充実も重要であると認識しており、より多くの会員が参加しやすい研修運営に努めてまいります。

引き続き、会員の皆様からのご意見を参考にしながら、研修事業の改善に取り組んでまいります。